

令和2年度 事業計画

一般社団法人 でんき宇奈月

当法人の事業区分を超え、地方創生を実行するためにも、自然と共存した地域資源のさらなる活用に係る様々な事業や地域の活性化を図ることを進める。

1. 小水力発電事業

(1) 宇奈月公民館裏

宇奈月谷小水力発電所（でんきウォー太郎1号）の除塵装置を検討など、継続稼働を安定して実施する管理運営体制とする。

(2) 黒部市布施川支流の田粳川

事業可能性が期待できたので、他団体と連携しながら建設に向けて調査・計画作成を進める。また、地域理解促進のため地区住民と対話を進める。

(3) その他

- ①新たな小水力発電所の候補地調査
- ②会員企業の小水力発電所建設の支援

2. EMU運行・スローモビリティ事業

(1) 運行の実施及び管理

冬期間を除く土日祝日2コースの運行を実施すると共に、運行計画・管理、運転手対応やEMU車両保管場所について、持続可能なものに整備する。

(2) EMUを活用したイベント等の実施及び提案

宇奈月温泉街及び黒部市他での既存のイベントとのジョイント、EMUを使った温泉街の活性化につながるイベント、EMU新区間の実証実験、一般社団法人立山黒部ジオパーク協会と連携したツアーを検討する。

また、県内外の有望地区に対して、EMUの域内シャトル運行やEMUを利用したイベントなど、EMUを活用した地域の活性化事業を提案し、対象地域の合意が得られれば実施に向けて協力する。

3. 温泉熱利用事業

宇奈月温泉街の旅館に熱供給システムの提案を試みるなど、地元住民・行政・企業等が連携した温泉水、温泉熱の利活用モデルについて検討する。

その1つとして、温泉熱を利用した施設園芸における二酸化炭素施用の実験を実施する。

4. 木質バイオマス利用事業

宇奈月地区において、木質バイオマスを活用した地域の環境・経済・社会（福祉）の調和のとれた循環システムの実現に向け、調査・検討を行う。

5. ジオパークを活用したまちづくり事業

一般社団法人立山黒部ジオパーク協会とも連携し、交流施設わくわく広場『うなジオ』の認知度向上を図る仕組みを構築し、ジオパークを活かした宇奈月温泉の魅力を高める。

6. 次世代まちづくりの調査事業

自動運転車やIoTなどの新技術を融合させた、新しい温泉観光地の構築を目指した次世代まちづくりに関する調査を開始する。ここではスローモビリティ空間、自動運転、EVを利用した送迎、カーシェアリング、乗り合いタクシーなどの新たなサービスを視野にいれた MaaS（Mobility as a Service）の実装をめざす。